

「感染拡大地域に 外出自粛要請を」

政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会は十一日、感染者が急増するステージ3相当地域を、さらに三段階に分け、拡大が継続する地域内では外出自粛や「G.O.T.O.トラベル」の一時停止を求める提言をまとめた。尾身茂会長は分科会後の記者会見で、ステージの判断や一部の対策で「国と自治体で一体感がない」とし「知事はリーダーシップを発揮して先手を打ち、国は後押しをしてほしい」と指摘した。『新型コロナ関連❸❻面、論説❶面』

政府は、札幌市と大阪市を目的地とするG.O.T.O.ラベルの割引停止に関し、解除予定だった十六日以降も継続する方向で最終調整に入った。東京都についても少なくとも自粛要請を延長する。一方、菅義偉首相はインターネット番組で、全般的には年末年始を含む期間のG.O.T.O.トラベルの一時停止を否定し「まだそこ

は考えていない」と述べた。提言に対しては西村康稔経済再生担当相が中心となり、来週にも関係自治体の首長と対応を協議する。

新たな提言を出したのは、政府が十一月二十五日に「今後三週間が勝負」と位置付けて対策強化を打ち出したものの、新規感染者数の減少につながっておらず、成功しているとは言い難いことが背景にある。

分科会はステージ3相当地域を「減少」「高止まり」「拡大」の三つに分類し、各段階での具体的な対策を明示。「高止まり」と「拡大」の段階では、飲食店などに営業時間のさうなる短縮を求めたり、緊急事態宣言時のような不要不急の外出自粛を要請したりするなどの強い対策が必要とした。